



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

2007.4.11 (No.2452) 週報 No.36

第2560地区ガバナー／中條 耕 二  
 会 長／渡 辺 勝 利  
 会長エレクト／荻根澤 隆雄 (クラブ奉仕A)  
 副 会 長／中 村 和 彦 (クラブ奉仕B)  
 幹 事／山 田 富 義  
 S A A／石 月 良 典  
 会 計／中 村 和 彦

例会日／毎週水曜日12:30～  
 例会場及び事務局／  
 三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内  
 例会場／TEL 34-3311  
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
 (〃はshiftを押しながら“へ”のキーを  
 押してください)

■本日の出席会員数:65名中55名  
 ■先々週出席率:77.27%

【先週のメイクアップ】

- [4.9] 三條南RCへ  
 ・松谷晃吉さん、石月良典さん、  
 ・加藤紋次郎さん、藤田紘一さん、  
 ・石橋育於さん、丸山行彦さん  
 [4.10] 三條北RCへ  
 ・成田秀雄さん、加藤紋次郎さん



「率先しよう」

2006～2007年度国際ロータリーのテーマ



本成寺のソメイヨシノ

# 会 長 挨拶

## 渡辺勝利 会長



愈々三條の桜も咲いてきました。雪国新潟の地にも、平野部には桜が咲き山には程よく残雪が残って美しく、1年で最もよい季節を迎えました。高田の桜便りも届き、新竹からの来訪者が最初に泊まる予定の湯沢温泉の地もおそらく山々の残雪に囲まれており、台湾では見ることのできない素晴らしい雪山の景色が彼らを歓迎するものと思います。佐渡にも行くようですが、そ

らからも桜便りが届いています。このようなよい季節に我々のクラブの50周年の式典の日を迎えられることは、本当によかったです。

今日の例会も欠食会員が出てしまい、その方には申し訳ございませんが、大変大勢の会員のご出席をいただいております、式典に向けての皆様のお気持ちが現れているように感じて大変ありがたく思う次第です。今日皆様に見ていただいております式典当日の新聞広告の原稿ですが、私の顔が両手を広げて大きく写っており、何もお役にたっておらないのに恐縮に思っていますが、松谷副実行委員長さんから胸から上だけの写真では面白くないので、とのことで先々週の例会時にこの例会場で撮っていただいたもので、そのときは両手を前に開いてと言われたときには一寸照れましたが、こんな風に使われてみてそのユニークな感性に改めて感心させられました。記念式典全体に、工夫された個性がちりばめられておる表れであると喜んでおります。ただ間際まで色々な変更が入り、印刷を担当していただいております三條印刷さんには、何度も印刷のやり直しをお願いしてご迷惑をおかけしたのだそうで済みませんでした。ご協力に感謝申し上げます。また色々のセクションの皆様方にはお互いの擦り合わせにご理解とご協力をいただいておりますことにも感謝申し上げ

げます。ただ私のほうが先週の会長挨拶のメール送信をすっかり忘れており、昨日の午前に気づいたのですがとき既に遅く、今日の例会に間に合わなくなってしまいました。お詫び申し上げます。

## 幹事報告

### 山田富義 幹事

◎ 4月14日(土) いよいよ三条RC50周年式典です。  
4月13日(金) リハーサル全員 PM 1:30までに集合をお願いします。  
当日はAM 8:30までにご集合下さい。  
皆様のご協力をよろしくお願い致します。  
尚、次週4月18日の例会は振替で休会となります。

◎ 再度ご案内いたします。  
三条ローターアクトクラブより  
「春のクリーン作戦 in トリムの森」のご案内がとどいております。  
と き 4月30日(月) (昭和の日振替休日)  
AM 7:00～8:15  
ところ トリムの森

◎ 2007～2008年度第4分区アシスタントガバナーより第4分区会長、幹事会のご案内がとどいております。  
と き 4月27日(金) PM 6:30～  
ところ 松木屋

## ニコニコBOX

### 渡辺勝利さん

桜の花が咲いてきました。  
愈々本番間近となりました。皆様のご努力に感謝!!  
松谷さん、卓話ありがとうございます。

### 山田富義さん

三条ロータリークラブ50周年記念式典まで、あと僅かです。皆さん宜しく申し上げます。  
50周年を成功させるためにスマイルBOXに協力します。

### 荻根澤隆雄さん

いよいよです。  
今日は松谷さん、ご苦勞様です。タイミング良く桜も満開となりそうです。

### 佐藤 武さん

4月14日、50周年記念式典が近づきました。会が盛会に行われ、健康に留意して、無事行われることを祈っております。

### 長谷川有美さん

過日、当クラブ50周年記念事業で三条市へ寄贈の青少年防犯パトロール車の納車をさせて戴きました。

### 小出子恵出さん

桜の季節です。五十嵐晋三さんより桜の褒め方を教わりました。  
松谷さん、50周年ごくろうさまです。

### 五十嵐昭一さん

いよいよ50周年が迫りました。成功を祈ります。

### 菊池 渉さん

いよいよ式典ですね。  
先日、父の7年忌をつとめました。毎週檀家さんの法事には招かれているのに、自分のことだとモタモタでした。

### 会田二郎さん

松谷副実行委員長いよいよですね。大変、ご苦勞様です。とっても当日楽しみです。感謝の日々です。

### 中村和彦さん

今日は松谷さんの卓話を聞かせてもらい、50周年に向かって気持ちを新たにしたいと思います。

### 橘 直樹さん

今日は26回目の結婚記念日です。子供も1人立ちして、新婚生活を味わっています。

### 五十嵐晋三さん

会場前の桜、しだれ桜が小さくきれいに咲き始めました。

### 坂井庚司さん

やっと桜が咲きました。

### 石月良典さん

子供が高校と小学校に、それぞれ入学いたしました。

### 斎藤弘文さん

桜が咲きました。

### 高森章仁さん

信号無視の車が目立ちます。陽気のせいでしょうか？

### 小越憲泰さん

いよいよ、三条RC50周年記念式典が近づいてきました。楽しみです。

### 松谷昊吉さん

つたない卓話をさせていただきます。

### 船越正夫さん

松谷さん、卓話ご苦勞様です。  
それと、50周年の準備ご苦勞様です。

### 広岡豊作さん

松谷さんのいつも鋭いご意見に感心しています。

### 藤田紘一さん

50周年いよいよです。

### 成田秀雄さん

ケガで、ご迷惑をおかけいたしました。  
50周年に寄付いたします。

若槻八十彦さん

松谷会員の卓話を楽しみにしています。

50周年を成功させるためにスマイルBOXに協力します。

樺山 仁さん

50周年も間近になりました。皆様、大いに楽しみましょう。

高橋 司さん、外山雅也さん、熊倉昌平さん、丸山行彦さん、川瀬康裕さん

松谷会員、卓話ご苦労様です。

金子俊郎さん、西山徳厚さん、石塚欣司さん、

日戸平太さん、杉山幸英さん、松永一義さん、

石倉政雄さん、明田川賢一さん、斎藤真澄さん

50周年を成功させるために、スマイルBOXに協力します。

4月11日分 ￥ 50,000

今年度累計 ￥1,939,000

## 財 団 BOX

藤田紘一さん

娘が公認会計士試験に合格することができました。

石月良典さん

長男が高校に、長女が小学校に入学いたしました。

斎藤弘文さん

孫が幼稚園と小学校に入学致しました。

4月11日分 ￥ 18,000

今年度累計 ￥ 33,000

## 卓 話

### 松谷 昊吉 会員



私が入会したのは、クラブとして31年度の昭和62年、熊倉さんが会長、内山さんが幹事、ガバナーは高崎の安藤さん、分区代理は当クラブの吉井さんの時でした。

本日で丸19年と9ヶ月と11日になりました。もう少しで今回連続20年の表彰を受けられるところだったのですが残念です。スポンサー

は直接は上木さんと高橋一夫さんです。もともと入会する気は無かったのですが、上木さんが親父を説得し、社会勉強に行けと入会することとなりました。

7月の新年度第一例会から出席しましたが、ガチガチに緊張してドアを開けて会場を見たたん、ここは自分の来る所では無いと直感的に思いました。いわゆる三条の名士と言われる人ばかりに見えまし

た。まあ、事実そうであった訳ですが、待ってて下さった上木さんに促されて席に着きはしましたが、本来気が小さいものですから、ドキドキしっぱなしで、その1時間が長く感じられたものでした。しかし、その例会で小林英雄さんが、「松谷さん、よく入ってくれました」と声をかけて下さいました。少し気は楽になりました。そのうち、五十嵐総一さんが来られて、「これでやっと最年少の役割が終わった」と、また声をかけて下さいました。

現況報告書には最年長者と最年少者が記載されていますが、五十嵐さんは、かなり長い期間最年少者であったようです。それだけ若い人の入会がないということです。私の場合は確か1年ですので、その後はジャスコの店長だったと思いますが、その頃からポツポツ若い人達の入会が出てきました。そして、その年の新人が4名、情報委員会でいろいろ教えていただき、特に出席は義務だとのことで、休むことなく連続出席をしようと約束したのですが、結局、それを意地で続けているのは、私一人ということになりました。当時は現在と同じ67名でした。今日、現在私の先輩は16名ですから、単純に見ても51名の方々が入れ替わったことになります。実際にはもっと大勢でしょうか。本日は先輩16名を除く方々を対象にお話をさせていただいています。

この連続出席という考え方は、私達の現況報告では通算という言葉が入るように、1年単位で欠席のあった年を除いて加算するものですが、基本的に連続は起点から基点と考えるのが正しいのではないのでしょうか。通算は改正されるべきと思います。

私は7年目でSAA、9年目の石橋年度で幹事。幹事を受ける時には悩みました。今でもそうですが、県外出張が毎月1週間必ずある訳で、その時どうするかということでした。会社には報告せずに、とにかく朝、例会に間に合うように戻り、例会が終わったらトンボ返りで、出張先に帰って仕事するしか無いと覚悟を決めてやりました。

高速道路のおかげで何とか穴をあけずに幹事を務める事ができました。そして16年目に会長をすることになるのですが、幹事の時と同じように行動し、もちろんメーカーキャップはしますが、入会以来、連続を続けてこられました。

しかし、熊倉さんのように入会以来38年、加藤さんは同じく入会以来22年連続を続けておられるのは覚悟と努力がなければできません。頭の下がる思いです。ですから評価されるべきです。とは言え、新入会員の皆さんに強要するものではありません。ボーダーラインを切らないようにできるだけ出席の%を上げていただければと思います。

それはそうと初めての夜例会の時、もうどなたかは忘れましたが、先輩に「松谷君の顔を覚えてもらうためにも皆さんに酒をついで回った方がいい」と指導いただき、それからは機会のあるたびに端から端まで注いで回りました。



その折々に、いろいろなお話を聞くことができ、とてもよかったと思います。

新人の皆さんにもお勧めいたします。と言うよりも、せっかくロータリーに入ったのですから、そうすべきです。いつまでもお客様では駄目です。お陰でいろんな経験を積むことができ、ロータリーに入れていただいて本当によかったと思っています。20年は生まれた子供が成人になるほど長い時間ですが、また、あっという間だったようにも感じています。この間、いろんな思い出があります。ポリオプラスでバザーをやったこと、ライラへ5～6回行ったこと、ライラは赤城へ行った時から石橋さんとのつながりが深くなり、今じゃ、親戚みたいなもので2家族でカルガリの国際大会にも出席しました。活動は目的目標があり、そのプロセスがあって成果があり達成感が生まれ喜びが出ます。これが一番の退会防止です。記憶、思い出に残るような活動があってこそロータリーです。ロータリーから何を得るかは、ロータリーのために何をしたかにかかっているのですから。ロータリーには基本的な約束事がいろいろあります。それを前提として、どこまでは許されてどこまでは守らなければならないかの許容範囲があります。100人よれば100人のロータリーがあると言いますが、それはその範囲の中での話で、ややもするとその部分が希薄になりかかっているのが心配です。私は自分の会長の時にテーマを作るのにかなり時間をかけて推敲し作りしました。それは一言、「よりロータリアンらしく」です。

もちろん説明はしました。次の通りです。難しいことではありません。私達がよいロータリアンらしくを意識し行動することで、いくつもの目標を掲げることもなく、なすべきことがなされます。ロータリーの綱領に、理念に、標語に、四つのテストに、そして職業宣言に目を通して下さい。

すべきことが理解されます。確かに人それぞれの価値観も基準も多少の違いは当然あると思います。しかし、社会人として持っているマナーや一般的常識が裏表ほど違うはずはありません。さらに私達はお陰様で成り立っていることも知っていますし、四つのテストの、皆に公平かの一文でも威張らず、おごらず、侮らずが実践されます。そういう気持ちを忘れない限りロータリアンでいられます。

すでに私達は社会人として何をすべきかを、どうあるべきかも知り、行動してきて現在があるのですから、というものです。ロータリーを卒業しても社会人としての規範にしたいと思っています。

どうもかたい話ばかりで申し訳ないのですが、ロータリーの将来にかかわる話がもう1つ。これからロータリーは大きな変化を迎えようとしています。それは地区が地区リーダーシッププランをすでに実施しているように、私達のクラブも強制ではないというもののクラブリーダーシッププランを受け入れるようになるものと思います。

すでに友10月号に重田RI理事が4頁にも渡って文章を書いておられるように、日本でも強く推奨されるでしょう。群馬ではもう半分以上のクラブが受け入れ実施しています。おそらく全クラブが近々取り入れることになるようです。その骨子は基本的に委員会の数を5つに集約し委員会も3年委員会として、その活動も3～5年という長期的な目標を作ることになりますので、もうロータリーは単年度という考え方は会計的なものだけで、それ以外は今までのシステムとしてのロータリーらしさはなくなるのかも知れません。しかし、委員会活動はその構成人員が大勢になりますので、活動の実行性は大きくなるものと思います。

アイサーブという概念からウィサーブ型にシフトを切ることになります。ここに来て荻根澤年度では対応できませんが、中村、菊池年度では対応することになるのではないのでしょうか。新潟はこのCLPに関しては対応が遅れているようです。情報収集し充分検討する必要があります。従来の委員会構成では、私の年度で多少集約はしましたが、委員会における委員の数が少なくて実質的に活動できないということもある訳で、このCLPは受け入れるべきではないかと思えます。多くの委員をかかえることによって活性化せざるを得なくなるからです。お楽しみクラブになりかかっているロータリーが、これによって行動的になることを期待するものです。

さて、私は石橋さんにご指名を受けてこの役目をさせてもらっていますが、先の全体会議の折に齋藤先輩から、「松谷、こういうこと好きだなあ」と言われました。ほめられたのか、けなされたのか、はたまたあきれられたのか知りませんが、私も自分にあきれています。まあ激励されたと前向きに受けとってやらせてもらっています。ここまでやってきて、わかっていたことですが、まとめることはなかなか難しいことです。私のような直情的で納得できないとすぐに顔に出るタイプは、こういう仕事は向いてないと自己反省しているところです。すでにプランナーとしての役目は終わり、それぞれの委員会が予定通り実行してくれれば、すべてうまく行きます。

あとは早く決算したいと思っています。

今回は予算的には10年間、年度毎の積立がすべてあった訳ではありません。この前の高田にしろ、来年40周年をやる南にしろ、我々の予算を大幅に上まわる金額です。

別に金があるからどうのこうの言うつもりではありませんが、しかし、計画する側から言えば、あった方が良く決まっています。

これから60周年に対しては目標をしっかり意識し予算計画を実行すべきです。

今回はあるものでやれとのことでしたので、できるだけ無駄遣いはやめて、できれば多少でも残して一般会計に戻し、60周年の原資の一部にでもなればと考えて石橋実行委員長とも話して、その方向に進

んでいます。

しかしながら、ここへ来て言ってももう仕方ないのですが、実行委員として、また一人の会員として少なからず、納得のいかないとか不満なことがありますので申し上げます。

それは新竹RCに対する委員会の対応であり、それにクラブの対応です。

まず、新竹RCの我がクラブに対しての対応が悪すぎる点ですが、12月に入り各クラブ宛案内状の送付がメ切付で行われました。他クラブは、それぞれ答えてくれましたが、新竹は催促しても、催促しても、なしのつぶて返事無し。そのうち何か大勢で来るような話が間接的に耳に入り、こちらとしても予定があるので再度正式に20人以内にと連絡しましたが、これも無視。そして、またかなり経ってから来たときにはすでに30名、これも事務局にきた訳でなく、旅行の名簿として近畿日本ツーリスト宛に。いまだ正式にクラブ宛には来ていません。

私達は12月に4分区の各クラブには訪問し、キャパの問題もあるので、人数を絞ってお願いしてきました。しかるに正式に要請したにもかかわらず、一言の話も無く、これです。しかし、なんとか調整して、これ以上の受け入れはできないと再び連絡しましたが、これも無視で、また2人、また1人、さらに1人、常に一方通行。こんな対応はクラブ対クラブの間であるのでしょうか。ましてや大きな事業計画をしている相手のことを配慮することもなく。今年に入って昨日まで、この新竹に振り回されっぱなしです。委員会になんとかしてくれと言っても、来るものは仕方ないの一言です。

とにかく、他クラブと違って登録料はもらわないのですから、100%当クラブの負担となります。

さらに式典後の私達の慰労会にも出席させるで、これもOKになりました。この会はクラブの執行部が協力してくれた会員の皆さんに式典が終わって、その努力に感謝するもので、新竹の同席は筋が違うと思います。さらに、佐野委員長の先頃の話でお分かりのように湯沢にまで行って接待するの、帰りも昼食会を開いて接待するの、通訳を入れるのと、ここまでする必要があるのでしょうか。私ももっと節度あるやり方であれば、こんなことを言うつもりはありませんが、あまりにも行きすぎているので、言わない訳にはいきません。クラブのお金は長期間に貯めた大切なお金です。

それを只、接待費としてこんなにも使うことがクラブとして必要ですか？私共の会社では海外からであろうと、国内であろうと、いくらいい取引先でもここまでベタベタの接待はしません。

先日の全体会議の時に同席された先輩も、「こんなやり方は国際交流とは言わない」とおっしゃっておられました。もっと節度限度があつていいものと思います。


もうすでに今回のものも入れれば百数十万円が接

待費として使われることとなります。今回も要求をそのまま受け入れていけば、さらに数十万円かかったことでしょう。

友好クラブを作る時に、一番心配していたことがもう現実になっています。

事ここに至っては、今さらどうにもならないことですが、この関係も6月末で見直すことが決められてもいるのですから、きちんとクラブフォーラムを開いて、クラブの態度、限度を決定し、明文化するべきだと思います。私は、これからこういう席で、お話しすることはもうありませんので、あえて問題提起させていただきました。

# 5月の行事予定

 三条ロータリークラブ例会日

日	月	火	水	木	金	土
		<b>1</b> ◆三条北RC 会員卓話 相田恒彦会員	<b>2</b> ◆三条RC クラブ休会 (記帳できます)	<b>3 憲法記念日</b> ◆三条東RC 休会(祝日)	<b>4</b> <b>みどりの日</b>	<b>5</b> <b>こどもの日</b>
<b>6</b>	<b>7</b> ◆三条南RC 会員卓話 滝口恵介会員	<b>8</b> ◆三条北RC 会員卓話 佐藤啓策会員	<b>9</b> ◆三条RC 会員卓話 佐藤文彦会員	<b>10</b> ◆三条東RC クラブ・フォーラム	<b>11</b>	<b>12</b>
<b>13</b>	<b>14</b> ◆三条南RC クラブ休会 (記帳できます)	<b>15</b> ◆三条北RC クラブ休会 (記帳できます)	<b>16</b> ◆三条RC クラブ・フォーラム	<b>17</b> ◆三条東RC 職場例会 於 三條機械製作所	<b>18</b>	<b>19</b>
<b>20</b>	<b>21</b> ◆三条南RC クラブ・フォーラム	<b>22</b> ◆三条北RC クラブ・フォーラム	<b>23</b> ◆三条RC 会員卓話 石倉政雄会員 歸山 肇会員	<b>24</b> ◆三条東RC 会員卓話 佐藤浩一 会員	<b>25</b>	<b>26</b>
<b>27</b>	<b>28</b> ◆三条南RC 外部卓話 三条市立図書館 館長 羽賀吉昭様	<b>29</b> ◆三条北RC 早朝例会 於 嵐溪荘 (記帳できます)	<b>30</b> ◆三条RC 会員卓話 坂井庚司会員 野崎喜一郎会員	<b>31</b> ◆三条東RC		

※近隣RC例会変更のお知らせ

- 加茂RC                    5月17日(木) 夜例会    於 例会場
- 燕RC                      5月17日(木) 早朝例会   於 安了寺 (八王寺)

次週例会 5月2日 休会(クラブ休会)

次々週例会 5月8日 会員卓話 佐藤文彦 会員

